

逗子市長 平井竜一様

連自会-17-001

2017年10月18日アーデンヒル自治会 会長 菊地 透

バス導入の要望の件

昨日、久しぶりに晴れ、秋らしい気持ちの良い日と思いきや今日はまた一日雨、あげく冬の寒さになりました。

さて、10月2日に逗子市国保健康課の廣末さんから、総合的病院に関する動きについて、8・9月分のお知らせを頂きました。有難うございました。

頂きました文中に「(2) 路線バスの拡充について、なし」という記載があり、内容について廣末さんにお聞きしました。「現時点で路線バスの拡充について議論がない」という意味であることが分かりました。

ところが、今日”逗子・葉山 地域医療を考える会”発行のチラシが入っていて次のような文章がありました；

※京急バス路線（逗子一田浦線）がアーデンヒル団地内に乗り入れることは検討されていないということです。

これは病院に京急バスは入らないという風に読めます。事実はどうなのでしょう？現時点で路線バス拡充の議論がないということですが、過去三回頂いた市長の病院に関するご説明の際に、アーデンヒル自治会として、路線バスのアーデンヒル内への導入を強くお願い致しました。

病院問題とバスの導入は、必ずしも同一レベルで語られるものではありません。しかしながら、京急の路線バスが総合的病院まで来るのであれば、僅かな距離を伸ばし、アーデンヒル住民及び沼間中学校に通う方々の便宜を図り、さらに京急バスの採算を良くする意味からも、歓迎されるものと思います。この路線バスの導入は、アーデンヒル住民及び沼間中学校教職員のみならず、南台住宅の住民の方々から最近期待する声が出ていると聞いております。また、バスのサイズについては、大型バスでなくミニバスを導入することで、従来からの懸念事項が解決されるのではないのでしょうか？アーデンヒル内を一周、あるいは折り返し転回するにしても転回する場所が狭くなり、工事費の低減が期待できます。同様に、バスが小形化するので、アーデンヒル入り口交差点の改良コストが、相当抑えることが可能かと思えます。

アゼリア団地でミニバスが導入され、京急の採算もとれるようになったことを参考に、ぜひ、高齢化の進むアーデンヒル内に、ミニバスによる路線バス導入を切にお願い致します。